

ホームページ掲載内容（案）

研究課題名：

ラグビーにおける頭頸部外傷予防の取り組み

研究責任者：

順天堂大学医学部附属順天堂医院 整形外科・スポーツ診療科 准教授 川崎隆之

研究の意義と目的：

ラグビー競技は脳振盪を初めとする頭頸部外傷が多いスポーツです。疫学調査によって、ボールを持って進行する選手を止める(=タックルする)行為がこうした外傷の主な発生機序であることが明らかになりましたが、なぜ発生するのか、あるいは如何にして予防するかについては未だ議論や研究の余地があります。申請者は、過去にタックルする選手とされる選手の相対的位置に着目したタックルシーンの映像解析を行い、ボールを持っている選手の進行方向を頭部で遮るような肢位のタックル(一般的に逆ヘッドタックルと呼称)は、頭頸部外傷の発生頻度がおおよそ 30 倍高いことを報告しました。そこで、こうしたハイリスクのタックルがなぜ発生するかを様々な観点から検証すれば、コンタクト外傷減少に有益な新たな知見が得られる可能性があります。本調査の目的は、脳振盪や逆ヘッドタックルの発生頻度をカテゴリ別に調査し、その発生リスクの要因を探索することにあります。得られた結果はラグビー競技における頭頸部のコンタクト外傷の予防と啓蒙に寄与することが期待できます。

観察研究の方法と対象：

解析対象は 2018 年度から 2019 年度に行われた国内の公式試合 60 試合（高校生 20 試合、大学生 20 試合、トップリーグ 20 試合）で発生した約 15,000 タックル

研究に用いる試料・情報の種類：

利用させていただく医学的な情報は下記の通りになります。

- ① 研究対象選手情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、ポジション、頭頸部外傷情報（外傷障害フォームより）
- ② 映像分析項目：試合時間、出場時間、発生時の点差、最終点差、競技レベル、チーム間の順位差、タックルの高さ、頭部の相対位置、パス回数、パスの長さ、起点となる形態、敵味方の人数差、歩数、時間、距離、方向転換など

研究解析期間：2019年4月1日 ～ 2022年3月31日

研究対象者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013年10月WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017年2月28日一部改正）に従って本研究を実施します。

個人情報保護の保護：

対象選手の情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。
また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、選手個人を特定できる情報は含みません。

利益相反について：

本研究は、一部を公的な資金（日本学術振興会科学研究費助成事業 科研費 基盤研究 C「ラグビー競技における頭頸部外傷予防の取り組み」）で賄われ、特定の企業からの資金は一切使いません。従いまして、研究者が企業等とは独立して計画し実施するものであり、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

また、本研究の研究者は、「順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程」および「人を対象とする医学系研究に係る利益相反に関する標準業務手順書」に則り、順天堂大学医学部医学系研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、その審査を受けております。

同意の取得について：

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017年2月28日）第12の1（2）ウの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。

今回の研究では対象選手から同意取得はせず、その代わりに対象となる選手へ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる選手で、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先：

順天堂大学医学部附属順天堂医院 整形外科
電話：03-3813-3111
研究担当者：川崎隆之